

設樂 浩志 (遺伝子改変動物室)

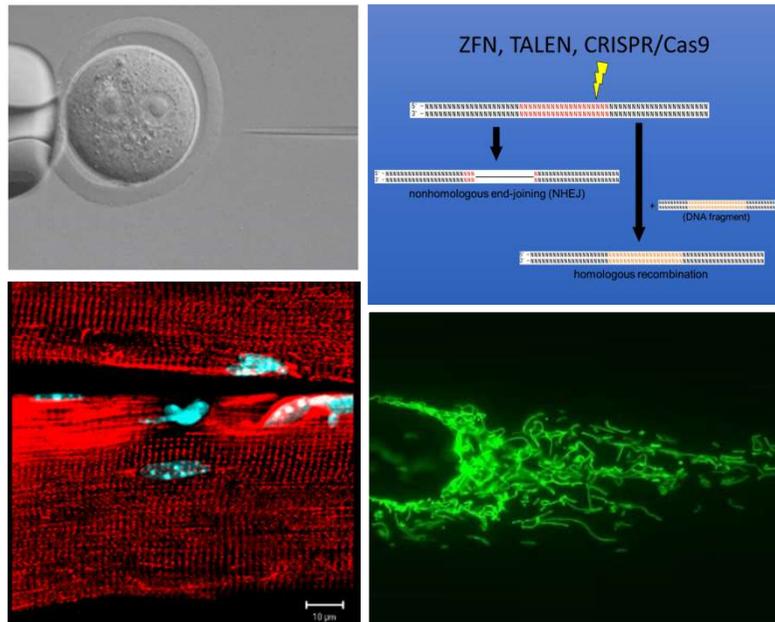
shitara-hr@igakuken.or.jp

疾患モデル・発生工学技術の開発 / mtDNA遺伝原理の解明

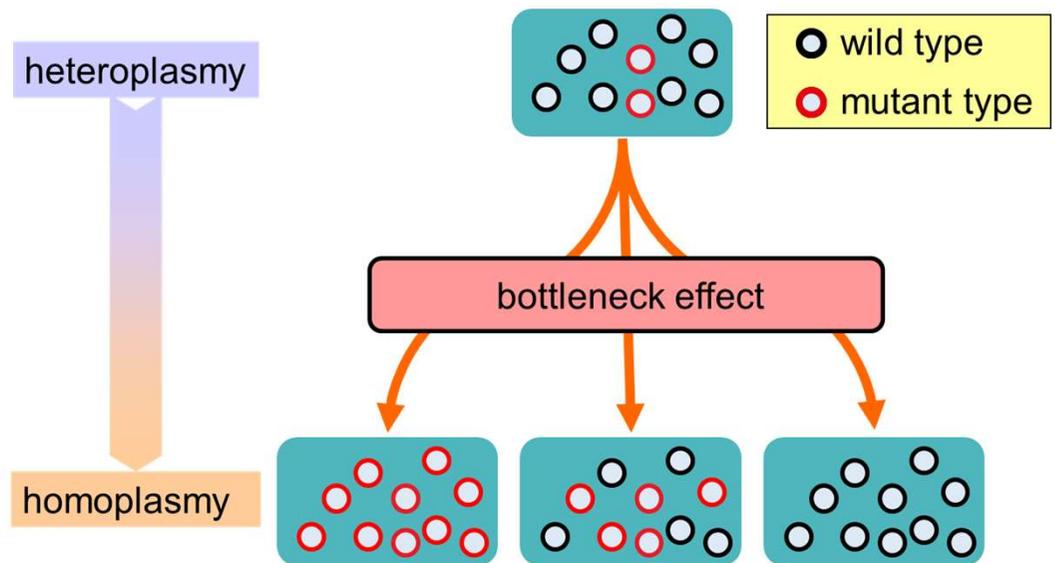
連携先：筑波大学大学院 生物学学位プログラム (哺乳類遺伝学)

キーワード: 発生工学・ゲノム編集・ミトコンドリアDNA・疾患モデル

遺伝子改変動物の開発 (ゲノム編集、疾患モデル)



mtDNA遺伝原理の解明 (遺伝様式、病態モデル・診断法への応用)



発表論文

Tani *et al.* *Sci Rep*, 8:425 (2018)

Shitara *et al.* *Transgenic Res*, 26:559-565 (2017)

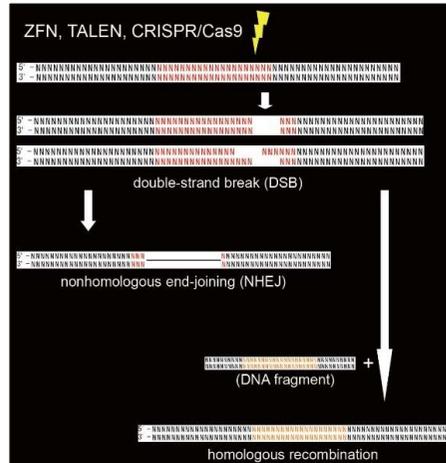
Yamaguchi *et al.* *Transgenic Res*, 21:439-447 (2012)

Nishiyama *et al.* *BBRC*, 401:26-310 (2010)

Cao *et al.* *PLoS Genet*, 5:e1000756 (2009)

Cao *et al.* *Nat Genet.* 39:386-390 (2007)

発生工学と遺伝子改変技術

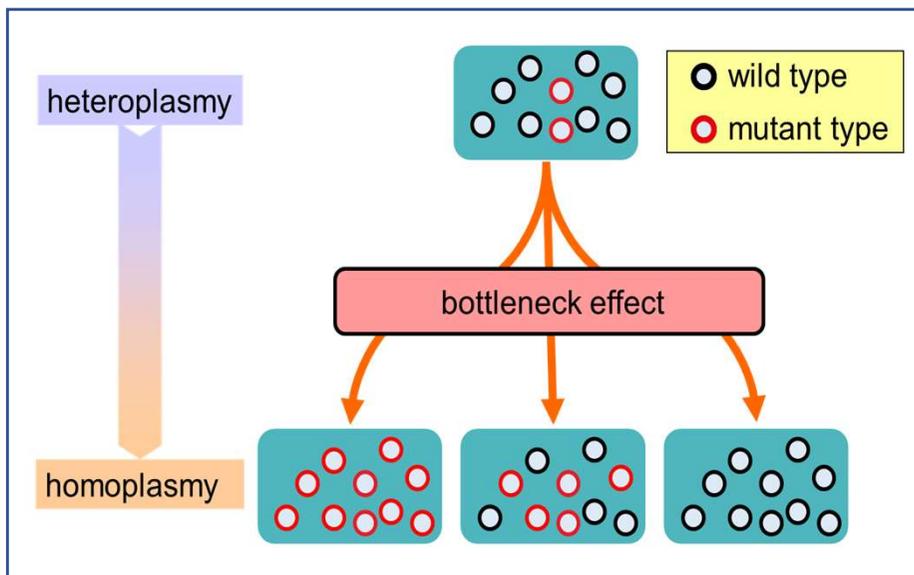


ゲノム編集技術などによる遺伝子改変動物、疾患モデルの開発

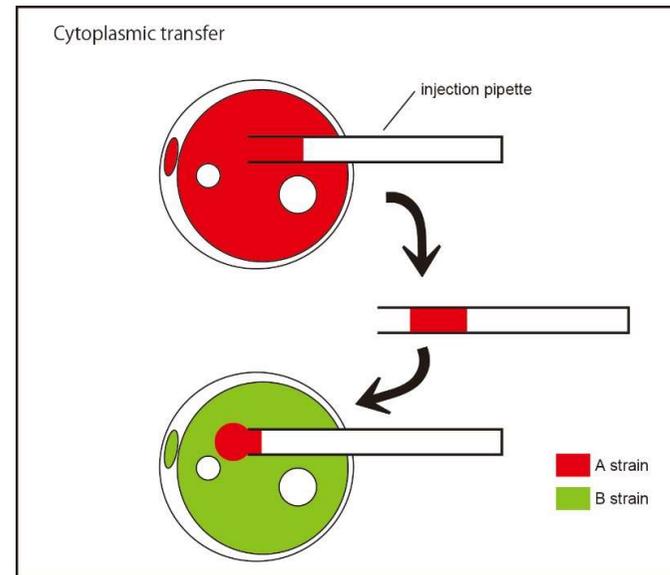
胚・配偶子の凍結保存技術

※ゲノム編集や発生工学の技術を実践することにご興味のある学生の方をご連絡頂ければと思います。

哺乳類ミトコンドリアDNA遺伝原理の解明と応用技術の開発



異質性mtDNA遺伝原理と病態発症の解明



異質性mtDNAのマウスモデル